

5 経営の重点

生徒指導の3機能（自己存在感・共感的人間関係・自己決定）を意図的・継続的に生かした学年・学級経営の充実を基盤とした、「いのち」輝く学校生活（自己存在感・自信・意欲）の創造をめざす

(1) 創意ある教育課程の編成と運営

二学期制教育課程のよさを生かす編成と運用の徹底
児童の実態に基づく適正な運営と管理
ねらいを明確にした教育活動の展開

(2) 授業の充実と学力の向上

授業の充実と学校研究の日常化
基礎学力の充実
総合的学習の時間の充実
情報教育の推進
読書活動の充実

(3) 豊かな心と判断力・行動力の育成

主体性と協調性をはぐくむ特別活動の推進
「かかわり」を通じたふるさとの自覚
児童理解の充実といじめ不登校の防止
豊かな心を育てる道徳教育・情操教育の充実
生徒指導体制および教育相談活動の整備・充実

(4) たくましい体と健康づくりの推進

体力・運動能力の向上と体育の日常化
「いのち」の視点に立った基本的な生活習慣・生活リズム指導の推進
安全管理・安全教育・安全体制の徹底

(5) 特別支援教育の充実

適正な就学指導と家庭との連携
障がい配慮した、一人一人のニーズに応じた教育の充実
特別支援教育コーディネーターを中核とした組織的な支援体制の確立

(6) 教育研修の推進

教育目標の具現化をめざす学校研究の充実
指導力向上のための現職教育の充実

(7) 開かれた学校づくりの推進

信頼される開かれた学校づくり
児童・保護者・教職員相互の信頼関係に基づく、安全・安心・安定の学校運営
学校評価・学校評議員制度の機能を生かし、計画・実践・評価・改善のサイクルを教育活動に生かす。